

**令和6年度**

# **子ども総合センター事業概要**

**(令和5年度実績)**



**令和6年9月**

**宮城県子ども総合センター**



# 目 次

I	宮城県子ども総合センターの概要	
1	沿革	1
2	組織概況	3
3	業務概要	4
II	令和5年度事業実施概要	
1	子どもメンタルクリニック事業	5
(1)	附属診療所診療状況	5
(2)	自閉症家族教室の開催	6
(3)	教育・保健・福祉等関係機関の支援及び専門的技術支援	7
(4)	所内勉強会等の実施	7
2	子どもデイケア事業	8
(1)	登録児童生徒の概要	8
(2)	プログラム実施状況	9
(3)	本人・家族支援	10
(4)	関係機関との連携	10
(5)	子どもデイケア終了者に対するフォローアップ	11
3	児童健全育成事業	12
(1)	児童文化普及事業	12
(2)	のびのびサロン運営事業	12
(3)	関係団体活動支援事業	12
4	不登校児童等支援事業	13
○	不登校相談・支援機関等研修会の開催	13
5	母子保健児童虐待予防事業	14
○	保健師等母子保健関係者に対する研修	14
6	専門職研修事業	15
(1)	職員等研修	17
(2)	現任保育士研修	20
(3)	保育士等キャリアアップ研修	22
(4)	子育て支援員研修	23
(5)	放課後児童支援員認定資格研修	27
(6)	児童福祉司等義務研修	30
7	子どもの心のケア推進事業	33
(1)	子どもの心のケア体制強化事業	33
(2)	子どもの心のケア研修事業	33

8 発達障害者支援センターの運営 .....	3 6
(1) 発達障害者支援センター活動実績 .....	3 6
(2) 出前講座 .....	3 8
(3) 研修会の開催 .....	3 9
(4) ひらがな音読支援 .....	4 1
(5) 発達障害者家族支援 .....	4 2

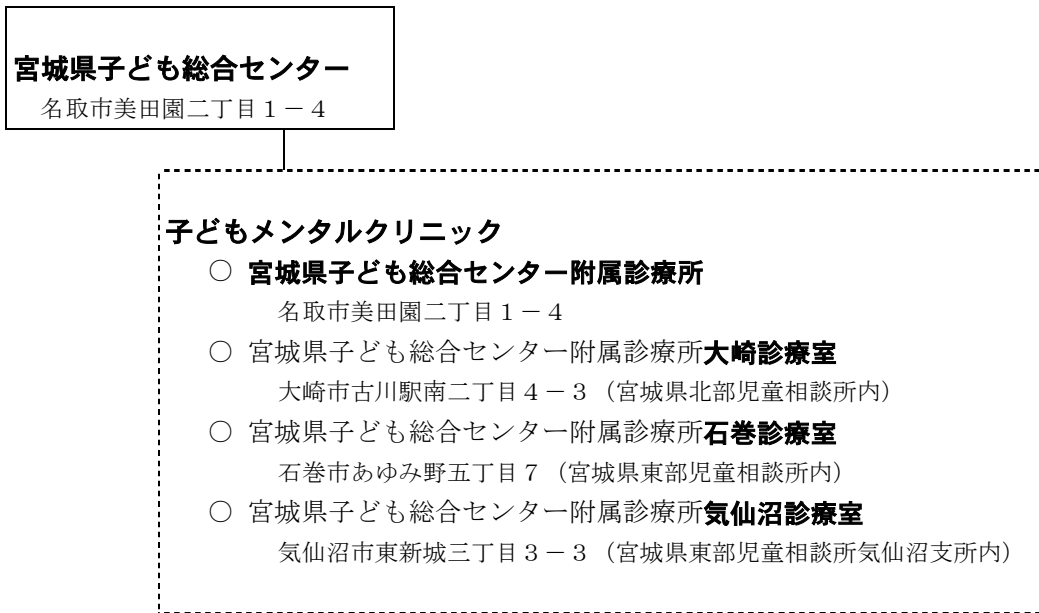
# I 宮城県子ども総合センターの概要

## 1 沿革

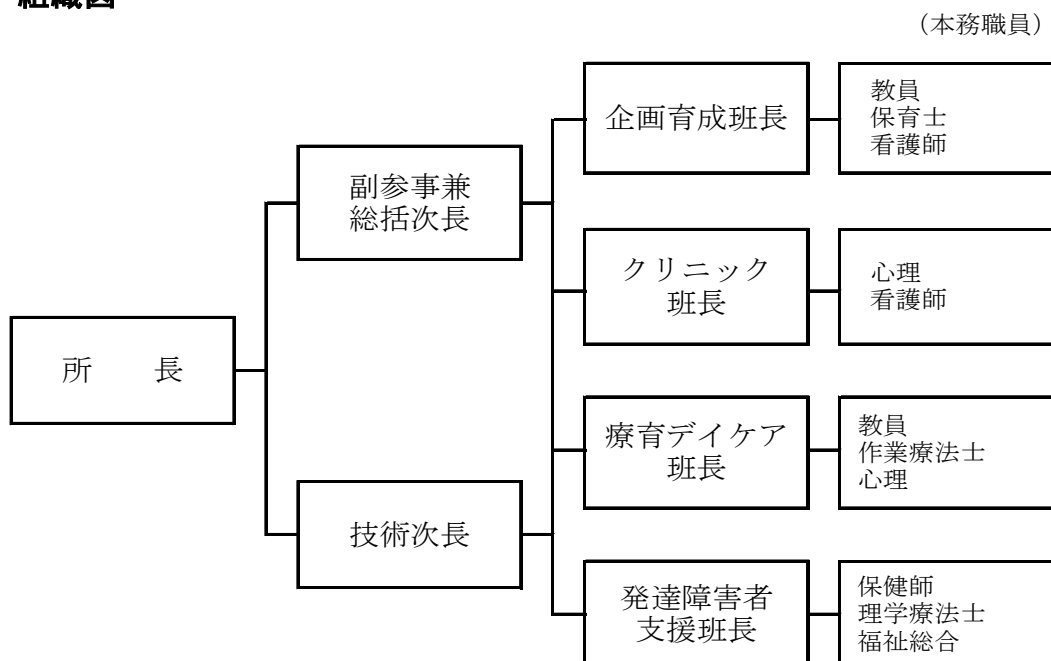
- ・平成9年度～平成10年度 「みやぎ子ども総合支援機能あり方検討委員会」を設置。子どもに関する様々な現象が社会問題化し、行政として高度な対応が求められていたことから、学識経験者で構成する委員会を設置し、児童相談所の機能と県立児童館の機能を融合しながら、子どもの健全育成から問題を抱えた子どもたちまでを総合的にケアしていく機能について検討。
- ・平成11年度～平成12年度 「みやぎ子ども総合支援機能あり方検討委員会」の検討結果を受け、関係部局と意見交換しながら、具体的な組織の在り方について検討。
- ・平成12年4月 宮城県中央児童相談所において「子どもメンタルクリニック」を暫定実施
- ・平成13年4月 宮城県中央児童相談所と宮城県中央児童館を統合再編し、多様な子どもの育成支援、精神科診療、人材育成など、子どもや家庭、関係機関等を総合的に支援する宮城県子ども総合センター(宮城県子ども総合センター附属診療所古川診療室を含む。)を設立するとともに、児童相談所の機能を強化した地域子どもセンターを中央及び古川に加え、沿岸地域の体制を強化するために石巻に支所を設置。
- ・平成14年4月 宮城県子ども総合センター附属診療所石巻診療室を開設
- ・平成15年9月 精神科通院医療の一形態である子どもデイケア事業を開始
- ・平成18年4月 宮城県子ども総合センター附属診療所気仙沼診療室を開設  
宮城県子ども総合センター附属診療所古川診療室を宮城県子ども総合センター附属診療所大崎診療室に名称変更
- ・平成23年3月 宮城県子どもの心のケアチーム巡回相談を開始
- ・平成24年2月 東日本大震災中央子ども支援センター宮城県事務所が宮城県子ども総合センター内に設置される。
- ・平成25年3月 宮城県中央児童館を廃止。児童遊園及び緑地部分を仙台市に譲渡。
- ・平成25年4月 仙台市青葉区本町一丁目4-39から名取市美田園二丁目1-4(まなウエルみやぎ)に移転
- ・平成26年3月 東日本大震災中央子ども支援センター宮城県事務所が閉鎖される。
- ・平成26年4月 心のケア推進班を新設  
東日本大震災みやぎ子ども支援センターが宮城県子ども総合センター内に設置される。

- ・平成28年3月 東日本大震災みやぎ子ども支援センターが閉鎖される。
- ・平成29年3月 心のケア推進班を廃止
- ・平成31年4月 発達障害者支援班を新設
- ・令和元年7月 宮城県子ども総合センター内に発達障害者支援センターを設置
- ・令和4年6月 療育デイケア事業においてショートケア承認
- ・令和4年11月 附属診療所において、段階的に電子カルテシステムを導入

## 2 組織概況（令和6年4月1日現在）



### 組織図



### 3 業務概要

#### (1) 子どもメンタルクリニック

児童精神科医を中心として、子どもの成長発達や、育児不安などに関する悩みを持つ保護者、情緒面の問題を持つ子ども及び発達障害の子どもなどに関する診療を行う。また、児童相談所や市町村等関係機関に専門的な技術支援を行う。

#### (2) 子どもデイケア

様々な心の問題及び発達の問題などにより、不登校など社会に適応しにくい子どもたちを対象に、社会生活を営む上で必要な生活技能を高めるための訓練や学習プログラムを提供し、適応能力の向上を図る。

#### (3) 児童健全育成

遊びや児童文化に関する研修等を通じ、地域や関係機関で様々な子どもの特性や成長段階に応じた健全育成事業を実施する人材を育成し、地域の子育て中の家族を対象に、遊び場の提供として「のびのびサロン」の運営などを実施する。

#### (4) 不登校児童等支援

不登校児童生徒に対応している機関の職員に対して、不登校の現状と抱えている課題や児童生徒とその家族に対する支援方法について考え、理解を深める機会として、不登校相談・支援機関等研修会を実施する。

#### (5) 母子保健児童虐待予防

産後うつ病や育児不安を抱える母親への支援技術向上及び児童虐待を予防するための地域体制への支援を目的とした研修会を開催するとともに、保健福祉事務所等主催の担当者会議や事例検討会に、助言者として職員を派遣する。

#### (6) 専門職研修

複雑化している子どもの相談業務や健全育成活動を的確に実施するため、児童福祉司、児童心理司、児童厚生員等関係職員の実務研修や、保育士が多様化した保育ニーズや課題に対応できるよう、専門知識や技術習得の研修を実施する。また、子ども・子育て支援新制度の施行に伴う放課後児童支援員を対象とした認定資格研修及び子育て支援員研修を実施する。

#### (7) 子どもの心のケアの推進

東日本大震災や豪雨等による自然災害の多発により様々な体験をした子どもたちの心のケアを行うために、附属診療所における児童精神科医療体制の強化を図る。保育士や教員など子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力向上を図ることを目的に、コンサルテーションや事例検討会、研修会などを実施する。

#### (8) 発達障害者支援体制の整備

発達障害に対する社会的認知の高まりなどにより、相談件数が増加し、支援ニーズが多様化していることから、身近な地域で充実した支援を受けられる体制を整備するため、子ども総合センター内に設置した「発達障害者支援センター」において、発達障害者への総合的な支援を行う専門機関として、一次支援機関（市町村等）・二次支援機関（「発達障害者地域支援マネジャー」を配置した事業所）への技術支援を行う。



## II 令和5年度事業実施概要

### 1 子どもメンタルクリニック事業

児童精神科医を中心として、乳幼児の発達や育児不安などに関する悩みを持つ保護者及び情緒面の問題（強い不安、抑うつ、強迫、不適応等）や発達障害（自閉症スペクトラム障害、ADHD等）を持つ子どもに対し、保険診療を行う子どもメンタルクリニック事業を実施した。

#### (1) 附属診療所診療状況（デイケア通所児童生徒を含む。）

子ども総合センター附属診療所、大崎診療室、石巻診療室及び気仙沼診療室（以下「当診療所」という。）においては、県内外から新患723人の児童生徒や親が受診し、延べ患者数は10,050人に達している。

新患の主訴は、幼児期から思春期までの様々な情緒面の問題、発達に関する診断、発達障害を背景とした行動上の問題などが多い。精神的な症状や行動上の問題などが大きく、治療を必要とする患者には、継続的な診療を行っている。

#### ○ 令和5年度診療状況

単位：人

診療室	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
名取	新患	23	27	87	64	42	41	78	63	48	28	57	51	609
	延べ	510	549	619	583	624	569	663	605	602	567	615	616	7,122
大崎	新患	7	6	10	9	4	7	9	9	6	7	8	4	86
	延べ	106	136	122	124	126	102	141	140	118	124	116	117	1,472
石巻	新患	1	0	0	0	4	0	2	1	1	1	2	0	12
	延べ	78	83	96	72	95	93	92	84	96	81	87	73	1,030
気仙沼	新患	1	1	3	1	1	1	1	1	2	2	1	1	16
	延べ	28	34	35	33	36	40	33	41	34	36	35	41	426
合計	新患	32	34	100	74	51	49	90	74	57	38	68	56	723
	延べ	722	802	872	812	881	804	929	870	850	808	853	847	10,050

#### ○ 患者地区別診療状況

単位：人

地区	仙台	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	他県	保護所	その他	合計
受診者数	456	1,845	4,047	1,238	174	315	1,364	490	27	65	29	10,050

## ○ 年次推移

診療室	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
名取	新患	740	910	760	790	785	753	823	792	695	874	576	609
	延べ	3,995	4,905	5,620	5,968	5,798	5,517	5,959	6,128	6,546	6,720	6,569	7,122
大崎	新患	116	110	96	75	82	61	63	45	64	48	95	86
	延べ	1,056	1,204	1,272	1,235	1,173	949	998	1,063	1,271	1,459	1,475	1,472
石巻	新患	87	82	56	50	33	50	32	34	42	61	53	12
	延べ	377	387	340	393	301	383	415	482	652	913	1,086	1,030
気仙沼	新患	34	43	32	44	27	41	31	39	30	37	31	16
	延べ	151	265	304	320	291	272	308	431	429	467	444	426
合計	新患	977	1,145	944	959	927	905	949	910	831	1,020	755	723
	延べ	5,579	6,761	7,536	7,916	7,563	7,121	7,680	8,104	8,898	9,559	9,574	10,050
診療日数		240	251	245	244	237	244	244	240	243	241	241	236
医師数 (常勤換算)		4.2	4.1	4.3	4.1	3.15	2.4	2.5	2.95	3.7	3.55	3.45	3.45

※ 「名取」については、平成24年度は「仙台市」で、平成25年度以降は「名取市」での診療です。

※ 診療日数は名取診療室の年間数です。

## (2) 自閉症家族教室の開催

当診療所に通院歴があり自閉症スペクトラムと診断された子の保護者を対象に、障害についての正しい知識を習得し、障害特性に合った養育方法を学ぶことを目的として実施した。発達の診断や見立てを主訴として来院する患者の家族が依然として多く、診療ではフォローしきれない部分を当事業で補うことが期待されている。

## ○ 開催状況

### <前期>

日時	テーマ	講師	参加者数
令和5年5月19日(金) 10時～12時	自閉スペクトラム症について	子ども総合センター 小児科医 佐藤 寛記	4人 (4家族)
令和5年6月1日(木) 10時～12時	お子さんの特徴をつかもう	公認心理師・臨床発達心理士 菅原 佐和子 氏	6人 (6家族)
令和5年7月7日(金) 10時～12時	お子さんに合わせた支援を 考えよう	公認心理師・臨床発達心理士 菅原 佐和子 氏	6人 (6家族)
令和5年8月31日(木) 10時～12時	先輩保護者からのメッセージ	宮城県発達障害ペアレントメンター 2人	4人 (4家族)

### <後期>

日時	テーマ	講師	参加者数
令和5年10月27日(金) 10時～12時	自閉スペクトラム症について	子ども総合センター 小児科医 佐藤 寛記	12人 (9家族)
令和5年11月8日(水) 10時～12時	お子さんの特徴をつかもう	公認心理師・臨床発達心理士 菅原 佐和子 氏	10人 (8家族)
令和5年12月6日(水) 10時～12時	お子さんに合わせた支援を 考えよう	公認心理師・臨床発達心理士 菅原 佐和子 氏	10人 (10家族)
令和6年1月24日(水) 10時～12時	先輩保護者からのメッセージ	宮城県発達障害ペアレントメンター 2人	7人 (7家族)

### (3) 教育・保健・福祉等関係機関の支援及び専門的技術支援

教員、保健師、児童福祉司などのコンサルテーションを行い、関係職種との連携と地域における児童福祉及び児童精神保健の向上を図った。

### (4) 所内勉強会等の実施

スタッフの資質の向上を目的とし、当診療所に通院中の子どもについて、事例検討や情報共有を14回実施した。

## 2 子どもデイケア事業

不登校、ひきこもり、発達障害等社会生活に不応を起し、精神医学的な関わりが必要な児童生徒に対し、集団の場面において、医療・教育・福祉的側面からの専門的なケアを行った。

### (1) 登録児童生徒の概要

令和5年度は162日開設。登録児童生徒数は21人で、利用者実人数は20人、利用者延人数は678人である。

#### 1) 月別登録者・利用者・1日の平均利用者数 単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開設日数	12	14	17	16	12	12	16	14	11	12	14	12	162
登録者数	17	17	16	16	16	16	16	16	16	17	17	20	
利用者実人数	16	16	15	15	14	14	15	14	15	14	15	18	
利用者延人数	53	61	74	54	44	45	66	63	51	53	67	47	678
1日の平均利用者数	4.4	4.4	4.4	3.4	3.7	3.8	4.1	4.5	4.6	4.4	4.8	3.9	4.2

#### 2) 学年 単位：人

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
0	0	0	0	3	4	6	3	5	21

#### 3) 性別 単位：人

男	女	計
10	11	21

#### 4) 居住地（市町別） 単位：人

仙台市	柴田町	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	大崎市	石巻市	計
1	2	6	5	2	1	2	2	21

#### 5) 主たる診断名 単位：人

適応障害	広汎性発達障害	不安障害	身体表現性障害	多動性障害	うつ病	情緒障害	知的障害	計
2	14	2	1	1	1	0	0	21

#### 6) 学年別見学者実数 単位：人

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
見学者実数	0	1	1	0	2	0	7	1	2	14

## 7) 学年別お試し利用者数

単位：人

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
お試し実数	0	0	1	0	2	1	4	1	0	9

## 8) 月別お試し利用者延べ人数

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	1	2	0	1	1	0	2	8	10	6	11	9	51

## 9) 終了者転帰

単位：人

通学継続	進学	在宅	県外転出	計
1	5	0	0	6

## 10) 年次推移

単位：人

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
登録者数	16	22	20	20	22	24	29	26	18	24	21
利用者延人数	392	833	1,065	1,178	993	968	794	667	517	535	678

## (2) プログラム実施状況

## 1) 通常プログラム

プログラム名	年間実施回数
ポケットタイム (コミュニケーション・ワーク)	35回
ものづくりクラブ (創作活動)	24回
おにぎりクラブ (調理活動)	21回
おんかつ (音楽活動)	11回
理科クラブ (理科実験等活動)	21回
理科教室	2回
運動クラブ (運動、ゲーム等)	17回
わくわくサロン (レクリエーション活動)	25回
学びの時間 (学習活動)	154回

## 2) 進路学習会、先輩の話を聞く会

プログラム名	実施日	参加者数
「進路学習会」 ・情報提供「中学卒業後の進路について」 ・懇談	令和5年7月4日(火) (午後プログラム)	8人 (利用者5人) (保護者3人)
先輩の話を聞く会 ・デイケア卒業生から進学等体験談を聞く ・質疑応答、懇談	令和5年7月25日(火) (午後プログラム)	7人 (利用者5人) (卒業生2人)

### 3) 季節・所外行事プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
季節の行事「夏まつり」	令和5年8月29日(火)	7人
季節の行事「クリスマス会」	令和5年12月21日(木)	7人
所外行事「動物園」 (雨天中止→所内活動に変更)	令和5年6月2日(金)	8人
所外行事「動物ふれあい体験、井上農園」	令和5年10月13日(金)	8人
所外行事「歴史と伝統体験～東北歴史博物館・塩竈神社」	令和6年1月12日(金)	8人

### 4) 特別プログラム

プログラム名	実施日	参加者数
SNS教室 講話「情報モラルについて考えてみよう」	令和5年11月28日(火)	7人 (中学生利用者)
親子行事「陶芸教室」	令和6年2月5日(月)	19人

## (3) 本人・家族支援

### 1) 面接実施件数

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本人面接	9	3	1	3	1	7	6	4	4	6	8	6	58
保護者面接	11	5	6	6	2	3	2	3	7	2	9	9	65

### 2) 評価会議の対象者数

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者	17	17	16	16	16	16	16	16	16	17	19	20	202
お試し利用者	1	1	1	0	1	1	1	2	5	4	6	4	27

### 3) 家族のつどいの開催

	内容	実施日	参加者数
1回目	・説明「子どもデイケアの活動について」 ・懇談 ・個別面談（希望者）	令和5年6月14日(水) 午後1時から午後2時40分まで	6人 (5家族)
2回目	・懇談「他の人に聞いてみたいこと」 ・個別面談（希望者）	令和5年12月6日(水) 午後1時から午後2時40分まで	7人 (5家族)

## (4) 関係機関との連携

### 1) 宮城県立精神医療センターとの情報交換会の開催

内容	実施日	参加者数
宮城県立精神医療センターに通院中のデイケア利用者、利用希望者及び終了者6人の情報共有	令和5年7月12日(水) 午後1時30分から 午後3時30分まで	宮城県立精神医療センター ケースワーカー2人

## 2) 学校連絡会の開催

内容	実施日	参加者数
デイケア登録者の在籍校の担当者を対象とした情報共有 (子どもデイケア事業説明) ・施設内見学・個別情報交換	令和5年8月17日(木) 午後1時30分から 午後3時15分まで	10人 (小学校5校、中学校5校) 計10校

## 3) 学校訪問及び関係機関支援者会議等への出席

内容	実施件数
デイケア登録者の在籍学校へ訪問・情報共有	実13校 / 延19校(延19名)
ケース会議(学校参加含)及び関係者情報共有の参加	20回 (ケース会議10回、情報共有10回) 対象者実人数9人

## 4) デイケア登録者の在籍学校に対する通所証明書の発行(件)

月	6	8	10	12	2	3	計
発行件数	17	17	16	16	17	20	103

## (5) 子どもデイケア終了者に対するフォローアップ

内容	実施回数・人数
自由来所	1回: 2人 12回: 1人 (通所終了後1年以内)
電話連絡	4人 (通所終了後1年以内)
卒業生の会(交流会) ※中止	令和5年12月27日(水): 参加者なし (通所終了後3年以内の希望者)

### 3 児童健全育成事業

#### (1) 児童文化普及事業

児童文化を次世代に伝え、広く普及することにより、児童福祉の向上と児童の自主的で創造的な活動が助長されることを目的に児童文化講座を開設した。

○児童文化講座

【開催日】令和5年7月24日（月）・27日（木）

【会場】大崎合同庁舎 大会議室、まなウェルみやぎ 第1・2会議室

【参加者】105人（2日間）

【内容】実技「身近な素材ですぐできる！タオル遊びとワンシート&パネルシアター！」

講師 淑徳大学 准教授 松家 まきこ 氏

#### (2) のびのびサロン運営事業

まなウェルみやぎ1階の「のびのびルーム」と「にこにこラウンジ」において、地域の子育て中の家族を対象に、遊び場の提供として「のびのびサロン」を運営した。

【運営日】火曜日から木曜日まで

【利用時間】午前9時30分から午前11時30分まで

【利用者数】延べ1,356人

【運営日数】141日

#### (3) 関係団体活動支援事業

市町村児童館活動等の活性化を図るために、宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会（県児連）等の自主運営に対して支援を行った。

○ 宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会運営支援  
通年（児童館職員等研修会共催3回）

○ 児童館・放課後児童クラブ等訪問

・石巻市子どもセンター らいつ

・古川中央児童館

・古川わかば放課後児童クラブ

○ 宮城県地域活動（母親クラブ）連絡協議会の育成のため、アドバイスや地域連携ルームの貸し出しなどの支援



## 4 不登校児童等支援事業

適応指導教室等の職員を対象にした研修会を実施した。

### ○ 不登校相談・支援機関等研修会の開催

不登校児童生徒に対応している機関の職員が、不登校の現状と抱えている課題や児童生徒とその家族に対する支援方法について考え、理解を深めるための研修会を開催した。

#### ○ 不登校相談・支援機関等研修会

【開催日】令和5年7月26日（水）

【会場】まなウェルみやぎ 第1・2研修室

【参加者】63人

【内容】講義 「不登校の標準対応」

講師 東京情報大学 総合情報学部 教授 田邊 昭雄 氏

#### ○ 適応指導教室等訪問

【訪問日】令和5年10月11日（水）

令和5年10月12日（木）

【会場】名取市子どもの心のケアハウス「はなもも教室」

白石市教育支援センター「白石市子どもの心のケアハウス」

【訪問職員】企画育成班 主幹 1人、主査 1人

【訪問内容】（1）活動・運営状況と課題等について

（2）当センターの研修事業についての意見や要望

## 5 母子保健児童虐待予防事業

宮城県では産後うつ病や育児不安又は不適切な養育環境に係る対応困難性の高さが報告されている。

そのため、当センターでは育児不安や虐待要因の一つである産後うつ病などの精神疾患の早期発見と支援技術の向上や、児童虐待を予防するための地域支援体制の拡充を目的に、母子保健関係者研修を継続しているところである。

コロナ禍の長期化や地震等の災害発生が相次いでいる現状を踏まえ、平時からの災害時対策のあり方を学び、災害時に母子が安心して生活できるよう災害時対策の推進を図るために研修を実施した。

また、多職種連携が求められていることから、産科医療機関職員も対象に含め、日々の生活や育児に寄り添うということをそれぞれの立場で考え、地域の中で行う妊産婦のメンタルヘルス支援や連携の在り方について考え、支援技術の向上を図ることを目的として研修を実施した。

### ○ 保健師等母子保健関係者に対する研修

研修名	実施日・会場	内 容	対象・参加者数
母子保健 福祉研修 I	令和5年 12月8日(金) まなウェルみ やぎ	テーマ：災害時における母子支援対策に関する研修 講義 「災害時における母子支援対策について」 演習 「誰もが楽に頼れるようになるには？」 講師 神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 教授 吉田 穂波 氏	県・市町村の母子 保健・児童福祉担 当者 24人
母子保健 福祉研修 II	令和6年 2月19日(月) まなウェルみ やぎ	テーマ：周産期のメンタルヘルス支援に関する研修 講義 ①「妊産婦のメンタルヘルス支援について～ 寄り添いながら支援をつなぐ～（総論）」 ②「精神的問題を持つ妊産婦への支援の実際 について（事例編）」 講師 神戸女子大学 看護学部、 教授 玉木 敦子 氏	県・市町村の母子 保健・児童福祉担 当者・産科医療機 関職員 35人

## 6 専門職研修事業

### (1) 職員等研修

児童虐待、いじめ、不登校、ひきこもり等の様々な子どもをめぐる問題が深刻化している。こうした複雑化している相談業務や、健全育成などを的確に実施するため、児童福祉司、児童心理司、児童厚生員、放課後児童支援員などの職員の実務研修を行い、資質の向上を図った。

- ① 対人援助機関職員基礎研修
- ② 児童館等新任職員研修
- ③ 児童館新任館長研修
- ④ 児童館長研修
- ⑤ 遊びの技術研修会
- ⑥ 放課後児童クラブ職員等ブロック研修会
- ⑦ 放課後児童支援員資質向上研修
- ⑧ 子育てボランティア研修

※ 詳細については、P17 ～ P19 を参照

### (2) 現任保育士研修

近年、子育て支援等、良質な保育サービスの提供、子どもの立場に立った保育の質の確保等、多様化した保育ニーズに対応し得る保育士の養成が求められている。こうした保育士の様々な課題に対応できるよう、高い専門知識や技術の習得の研修を行い、資質の向上を図った。

- ① 所長研修
- ② カウンセリング基礎研修
- ③ カウンセリング応用研修
- ④ 相談・支援研修
- ⑤ 大学派遣研修

※ 詳細については、P20 ～ P21 を参照

### (3) 保育士等キャリアアップ研修

保育所等（子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業をいう。以下同じ。）の保育現場におけるリーダー的職員の育成やその資質の向上を図ることを目的として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長通知「保育士等キャリアアップ研修の実施について」（平成29年4月1日付け雇児保発0401第1号）の別紙「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」（以下「国ガイドライン」という。）に基づく研修を委託により実施した。

※ 詳細については、P22 を参照

#### (4) 子育て支援員研修

地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の各事業の担い手となることを希望する者に「子育て支援員」として必要となる知識や技能等の習得を図ることを目的として、「子育て支援員研修事業実施要綱（平成 27 年 5 月 21 日付け雇児発 0521 第 18 号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長）」に基づき、都道府県が実施主体となる子育て支援員研修を委託により実施した。

- 基本研修
- 専門研修：地域保育コース（地域型保育）
- 専門研修：放課後児童コース

※ 詳細については、P23 ～ P26 を参照

#### (5) 放課後児童支援員認定資格研修

放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員として必要な基本的な生活習慣を習得するための援助、自立に向けた援助及び家庭と連携した生活支援等に必要な知識・技能の習得等を目的として、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準（平成 26 年厚生労働省令第 63 号）」第 10 条第 3 項に規定する都道府県認定資格研修を委託により実施した。

※ 詳細については、P27 ～ P29 を参照

#### (6) 児童福祉司等義務研修

児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 13 条第 3 項第 7 号、同条第 9 項及び第 25 条の 2 第 8 項並びに児童福祉法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 11 号）第 6 条第 12 号及び第 13 号において、受講が義務付けられた研修を実施した。

- ① 児童福祉司任用前講習会
- ② 児童福祉司任用後研修
- ③ 要保護児童対策調整機関の調整担当者の研修

※ 詳細については、P30 ～ P32 を参照

## (1) 職員等研修（詳細）

名称	対象者	内容・講師	実施日・会場
① 職対員人 基援助 礎助研機 修関	対人援助機関 の新任職員	講義・演習「対人援助の基本～ソーシャルワークの 視点をもとに～」  東北福祉大学 准教授 竹之内 章代 氏	前期：令和5年 5月23日(火) 受講者 28人  後期：令和6年 1月23日(火) 受講者 24人  まなウエルみやぎ 第1・第2研修室
② 児童館等 新任職員 研修	児童館・放課後 児童クラブの 新任（配属され て3年未満）の 職員	講義「児童館・放課後児童クラブ職員のサービスと役割」  特定非営利活動法みやぎ・せんだい子どもの丘 本部事務局 志賀 善之 氏  ※上記研修を6/20、6/27それぞれ開催	令和5年 6月20日(火) 仙台市生涯学習 支援センター 受講者 72人
			令和5年 6月27日(火) まなウエルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 36人
③ 児童館 新任館長 研修	就任して3年 未満の児童館 長	講義「児童館の運営について」  特定非営利活動法みやぎ・せんだい子どもの丘 本部事務局 志賀 善之 氏	令和5年 5月22日(月) まなウエルみやぎ 3階 第3研修室 受講者 21人
④ 児童館 館長 研修	児童館長及び 児童センター 長	講義「リーダーシップとコミュニケーション～活力 ある職場をめざし～」  東北コミュニケーション研究所 高橋 利夫 氏	令和5年 8月24日(木) まなウエルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 20人

名称	対象者	内容・講師	実施日・会場
⑤ 遊びの 技術 研修会	児童館・放課後 児童クラブで 健全育成に携 わる職員	研修Ⅰ 表現活動「工作のススメ」 仙台市榴岡児童館 児童厚生員・放課後児童支援員 宮崎 雅行 氏  研修Ⅱ ゲーム・運動遊び「運動遊びを通じた体と心の土台 づくり」 身体と心のコンディショニングトレーナー 西間木 由美 氏  ※上記研修を11/2、12/8それぞれ開催	令和5年 11月2日(木) まなウェルみやぎ 第1・2研修室、 体育館 受講者 20人
			令和5年 12月8日(金) 仙台市生涯学習支 援センター 第2セミナー室、 体育館 受講者 24人
⑥ 放課 後 児 童 ク ラ ブ 職 員 等 ブ ロ ッ ク 研 修	放課後児童ク ラブ職員等	表現活動 「モザイクアートワークショップ」講座  NPO 法人東北の造形作家を支援する会 理事長 藤原 久美子 氏	令和5年 5月19日(金) 仙台市生涯学習支 援センター 第1セミナー室 受講者 41人
			令和5年 5月31日(水) まなウェルみやぎ 第1・2研修室 受講者 50人
			令和5年 6月12日(月) 大和町ふれあい文 化創造センター 大会議室 受講者 59人

名称	対象者	内容・講師	実施日・会場
⑦ 放課後児童支援員 放課後児童支援員資質向上研修	放課後児童支援員	講義「放課後児童クラブ等における子どもの感染症やアレルギー、誤嚥等の予防と対応」 尚絅学院大学 准教授 金野 智津 氏	令和5年 10月2日(月) まなウェルみやぎ 第1・2研修室 受講者 43人
		講義「放課後児童クラブの役割」 石巻専修大学 教授 佐藤 正恵 氏	令和5年 11月10日(金) マルホンまきあー とテラス大研修室 受講者 28人
		講義「感情のコントロールが難しい子どもの理解と対応～アンガーマネージメントの手法を活かして～」 早稲田大学 教授 本田 恵子 氏	令和5年 11月21日(火) 仙台市生涯学習支援センター 第1セミナー室 受講者 62人
		講義「保護者+地域+児童館の連携のために～保護者も地域も巻き込んで連携するための対応を考える～」 NPO 法人虹の架け橋 東二番丁マイスクール児童館 館長 平山 恵美 氏	令和5年 12月20日(水) まなウェルみやぎ 第1・2研修室 受講者 37人
⑧ 子育て支援に関わる方(子育てボランティア等) 子育てボランティア研修	子育て支援に関わる方(子育てボランティア等)	講義「現代の子育て家庭の理解と保護者支援の基本姿勢～乳幼児を育てる保護者に寄り添うために～」 尚絅学院大学 教授 前田 有秀 氏	令和5年 10月19日(木) まなウェルみやぎ 第6研修室 受講者 23人
		講義「造形あそび～身近な材料を使って～」 聖和学園短期大学 教授 佐々木 貴弘 氏	令和5年 11月17日(金) まなウェルみやぎ 多目的ルーム 受講者 16人
			令和5年 11月30日(木) まなウェルみやぎ 多目的室A 受講者 16人

## (2) 現任保育士研修（詳細）

### ① 所長研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年1月25日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 28人	講義「保育所におけるマネジメント」  仙台白百合女子大学 教授 三浦 主博 氏
令和6年2月9日(金) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 44人	

### ② カウンセリング基礎研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年7月13日(木) 7月14日(金) まなウェルみやぎ 多目的ルーム 受講者 15人	【1日目】 講義・演習「カウンセリングの基礎～自分自身を知るために～」  【2日目】 講義・演習「問題解決に向けての取組」
令和5年7月27日(木) 7月28日(金) まなウェルみやぎ 多目的ルーム 受講者 15人	東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江 氏

### ③ カウンセリング応用研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年8月24日(木) 8月25日(金) まなウェルみやぎ 多目的ルーム 受講者 14人	【1日目】 講義・演習「自分を振り返ってみよう～相手に伝わる伝え方～」  【2日目】 講義・演習「問題解決に向けての取組」  東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江 氏



#### ④ 相談・支援研修

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年10月31日(火) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 51人	講義・演習「保育施設におけるカウンセリングマインドとアサーティブ・コミュニケーション」  東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和5年11月24日(金) 東北自治総合研修センター 第1・第2研修室 受講者 45人	

#### ⑤ 大学派遣研修

※ 宮城学院女子大学に委託して実施（3日間）

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年8月22日(火) 宮城学院女子大学 受講者 40人	「気になる子どもの発達支援」 宮城学院女子大学 准教授 平川 久美子 氏
	「保育組織の危機介入」 東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏
	「保護者向け Web アンケートの作成」 宮城学院女子大学 准教授 伊藤 哲章 氏
	「保育所における食育の課題」 宮城学院女子大学 准教授 丹野 久美子 氏
令和5年8月29日(火) 宮城学院女子大学 受講者 38人	「保育の質を高めるには」 共立女子大学 准教授 境 愛一郎 氏
	「保育ソーシャルワーク」 宮城学院女子大学 教授 熊坂 聡 氏
	「虐待の早期発見とその対応」 宮城学院女子大学 教授 足立 智昭 氏
令和5年9月5日(火) 宮城学院女子大学 受講者 36人	「スウェーデン発：アウトドアを活用した幼児教育」 宮城学院女子大学 教授 西浦 和樹 氏
	「対人間コミュニケーション」 東北福祉大学 専任講師 柴田 理瑛 氏

**(3) 保育士等キャリアアップ研修（詳細）**  
 ※（株）保育のデザイン研究所に委託して実施

- ・1分野：15時間以上
- ・インターネットを利用した講義（動画視聴）及び演習（ワーク・レポート作成等）

分野	開催期間	研修講師	修了者
①乳児保育	令和5年10月2日 ～令和6年1月31日	宮里 暁美 氏 井桁 容子 氏 和田 美香 氏 川辺 尚子 氏 高城 恵子 氏	821人
②幼児教育	令和5年10月2日 ～令和6年1月31日	宮里 暁美 氏 松寄 洋子 氏 北野 幸子 氏 無藤 隆 氏 利根川 彰博 氏 川辺 尚子 氏	621人
③障害児保育	令和5年10月2日 ～令和6年1月31日	久保山 茂樹 氏 差波 直樹 氏 三浦 主博 氏 若月 芳浩 氏 二宮 祐子 氏	594人
④食育アレルギー対応	令和5年10月2日 ～令和6年1月31日	太田 百合子 氏 長谷川 美穂 氏	551人
⑤保健衛生・安全対策	令和5年10月2日 ～令和6年1月31日	細井 香 氏 脇 貴志 氏	513人
⑥保護者支援・子育て支援	令和5年10月2日 ～令和6年1月31日	亀崎 美沙子 氏 大方 美香 氏 田尻 さやか 氏 高城 恵子 氏 松田 妙子 氏 佐藤 まゆみ 氏 矢萩 恭子 氏	590人
⑦マネジメント	令和5年10月2日 ～令和6年1月31日	矢藤 誠慈郎 氏 木元 有香 氏 高城 恵子 氏 鈴木 正敏 氏 瀧川 光治 氏 小櫃 智子 氏 中里 弘樹 氏	431人
合 計			4,121人





## ② 放課後児童コース<岩沼会場>

イ 基本研修：(①イの地域保育コース(地域型保育)と合同)

ロ 専門研修

修了者：26人 一部科目修了者：0人

実施日・会場	内容・講師
令和5年9月12日(火) 岩沼市中央公民館	選択科目①「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 武藤 裕子 氏 選択科目②「放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割等」 選択科目④「子どもの生活と遊びの理解と支援」 特定非営利法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏
令和5年9月20日(水) 岩沼市中央公民館	選択科目③「子どもの発達理解と自動機(6から12歳)の生活と発達」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏 選択科目⑤「子どもの生活面における対応等」 選択科目⑥「放課後児童クラブに従事する者の仕事内容と職場倫理」 特定非営利法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏

※ 受講者中3名は地域保育コース(地域型保育)と放課後児童コース両方を修了

## ③ 地域保育コース(地域型保育)<多賀城会場>

イ 基本研修

修了者：41人

実施日・会場	内容・講師
令和5年10月30日(月) 多賀城市市民活動 サポートセンター	ガイダンス 基本科目①「子ども・子育て家庭の現状」 基本科目②「子ども家庭福祉」 東北福祉大学 総合福祉学部 君島 昌志 氏 基本科目⑤「対人援助の価値と倫理」 東北福祉大学 総合福祉学部 高野 亜紀子 氏 基本科目⑥「児童虐待と社会的養護」 東北福祉大学 健康科学部 下山田 鮎美 氏
令和5年11月2日(木) 多賀城市市民活動 サポートセンター	基本科目③「子どもの発達」 基本科目④「保育の原理」 東北福祉大学 教育学部 山崎 敦子 氏 基本科目⑦「子どもの障害」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏 基本科目⑧「総合演習」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏

ロ 専門研修

修了者46人 一部科目修了者：3人

実施日・会場	内容・講師
令和5年11月6日(月) 多賀城市市民活動 サポートセンター	共通科目①「乳幼児の生活と遊び」 共通科目②「乳幼児の発達と心理」 東北福祉大学 総合福祉学部 平川 昌宏 氏 共通科目⑥「心配蘇生法」(普通救命講習Ⅲ) 塩釜地区消防事務組合多賀城消防署
令和5年11月9日(木) 多賀城市市民活動 サポートセンター	共通科目⑫「実施自治体の制度について」 宮城県保健福祉部子育て社会推進課 武藤 裕子 氏 共通科目⑦「地域保育の環境整備」 共通科目⑧「安全の確保とリスクマネジメント」 共通科目⑨「保育者の職業倫理と配慮事項」 認定こども園ろりぽっぷ学園 高橋 恵美 氏 共通科目⑩「特別に配慮を要する子どもへの対応(0～2歳)」 自閉症ピアリンクセンター ここねっと センター長 黒澤 哲 氏
令和5年11月14日(火) 多賀城市 文化センター	共通科目④「小児保健Ⅰ」 共通科目⑤「小児保健Ⅱ」 仙台市夜間休日こども急病診療所 所長 村田 祐二 氏 共通科目③「乳幼児の食事と栄養」 仙台市地域活動栄養士会 佐藤 京子 氏 共通科目⑪「グループ討議」 一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 小川 ゆみ 氏
令和5年11月17日(金) 多賀城市 文化センター	専門科目①「地域型保育の概要」 専門科目②「地域型保育の保育内容」 専門科目③「地域型保育の運営」 専門科目④「地域型保育における保護者への対応」・ 専門科目⑤「見学実習オリエンテーション」 名取市子育て支援拠点施設 cocoI' 11 館長 久松 優子 氏

※ 保育施設の見学実習2日

## (5) 放課後児童支援員認定資格研修（詳細）

※ 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわに委託して実施（4日間×3回）

### 第1回

【会 場】旭ヶ丘市民センター 大ホール

修了者：108人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和5年9月14日(木)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 武藤 裕子 氏
	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚綱学院大学 講師 中俣 友子 氏
	「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 「子どもの発達理解」 宮城教育大学大学院 准教授 越中 康治 氏
令和5年9月15日(金)	「障害のある子どもの理解」 「特に配慮を必要とする子どもの理解」 東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 岩手大学 准教授 深作 拓郎 氏
	「放課後児童クラブに通う子どもの育成支援」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏
令和5年9月28日(木)	「子どもの遊びの理解と支援」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
	「障害のある子どもの育成支援」 仙台市向陽台児童館 主任 庄子 珠美 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市桜ヶ丘マイスクール児童館 館長 今野 明美 氏
	「学校・地域との連携」 みやぎ・せんだい子どもの丘 本部事務局理事 志賀 善之 氏
令和5年9月29日(金)	「子どもの生活面における対応」 仙台市東二番町マイスクール児童館 館長 平山 恵美 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
	「放課後児童支援員の仕事内容」 「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏

第2回

【会 場】太白区中央市民センター 大会議室

修了者：93人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和5年10月18日(水)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 武藤 裕子 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 岩手大学 准教授 深作 拓郎 氏
	「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 「子どもの発達理解」 宮城教育大学大学院 准教授 越中 康治 氏
令和5年10月19日(木)	「子どもの遊びの理解と支援」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
	「障害のある子どもの育成支援」 仙台市向陽台児童館 主任 庄子 珠美 氏
	「放課後児童クラブに通う子どもの育成支援」 仙台市上野山児童館 主任 新沼 美佐子 氏
	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚絅学院大学 講師 中俣 友子 氏
令和5年11月8日(水)	「障害のある子どもの理解」 「特に配慮を必要とする子どもの理解」 東北福祉大学 講師 山本 良 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市桜ヶ丘マイスクール児童館 館長 今野 明美 氏
	「学校・地域との連携」 みやぎ・せんだい子どもの丘 本部事務局理事 志賀 善之 氏
令和5年11月9日(木)	「子どもの生活面における対応」 仙台市東二番町マイスクール児童館 館長 平山 恵美 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
	「放課後児童支援員の仕事内容」 名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎 氏
	「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏



第3回

【会 場】宮城県庁 講堂

修了者：177人、一部修了者：5人

実施日	内 容 ・ 講 師
令和5年12月4日(月)	「放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」 宮城県子育て社会推進課 武藤 裕子 氏
	「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」 「子どもの発達理解」 宮城教育大学大学院 准教授 越中 康治 氏
	「放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護」 東北大学大学院 准教授 石井山 竜平 氏
令和5年12月5日(火)	「障害のある子どもの育成支援」 仙台市向陽台児童館 主任 庄子 珠美 氏
	「保護者との連携・協力と相談支援」 仙台市桜ヶ丘マイスクール児童館 館長 今野 明美 氏
	「放課後児童クラブに通う子どもの育成支援」 仙台市片平児童館 主任 堀田井 裕子 氏
	「子どもの遊びの理解と支援」 仙台市連坊小路マイスクール児童館 館長 佐藤 のりみ 氏
令和5年12月11日(月)	「障害のある子どもの理解」 「特に配慮を必要とする子どもの理解」 東北福祉大学 講師 山本 良 氏
	「学校・地域との連携」 みやぎ・せんだい子どもの丘 本部事務局理事 志賀 善之 氏
	「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」 尚綱学院大学 講師 中俣 友子 氏
令和5年12月12日(火)	「子どもの生活面における対応」 仙台市東二番町マイスクール児童館 館長 平山 恵美 氏
	「安全対策・緊急時対応」 仙台市八本松児童館 館長 松浦 大輔 氏
	「放課後児童支援員の仕事内容」 仙台市片平児童館 主任 堀田井 裕子 氏
	「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」 仙台市立町マイスクール児童館 館長 小泉 節子 氏

## (6) 児童福祉司等義務研修（詳細）

### ① 児童福祉司任用前講習会（5日間）

実人数67人、延べ279人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年4月19日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 56人	「子どもの成長・発達と生育環境 1/2～2/2」 仙台市児童相談所 相談指導課心理支援係長 村田 理恵 氏
	「ソーシャルワークの基本」 元東部児童相談所所長 鈴木 清 氏
	「障害相談・支援の基本」 保健福祉部障害福祉課 首藤 瑞貴 合同会社ひなた 川島 綾 氏
令和5年4月20日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 56人	「子ども虐待対応の基本 1/3～2/3」 仙台市児童相談所 相談指導課長 阿部 浩士 氏
	「非行対応の基本」 仙台少年鑑別所・法務少年支援センター仙台 安藤 友祐 氏
	「子ども虐待対応の基本 3/3」 仙台市夜間休日こども急病診療所 所長 村田 祐二 氏
令和5年4月25日(火) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 58人	「社会的養護における自立支援 1/2～2/2」 児童養護施設丘の家子どもホーム 園長 鈴木 重良 氏
	「関係機関との連携・協働と在宅支援 1/2～2/2」 東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏
令和5年5月11日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 59人	「子どもの権利擁護」 かみすぎ法律事務所 弁護士 三浦 じゅん 氏
	「行政権限の行使と司法手続」 かみすぎ法律事務所 弁護士 庄司 拓 氏
	「子ども家庭福祉における倫理的配慮」 東部児童相談所気仙沼支所 所長 遠藤 哲也
	「児童相談所における方針決定の過程」 東部児童相談所気仙沼支所 所長 遠藤 哲也
令和5年5月19日(金) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 50人	「子ども家庭支援のためのケースマネジメントの基本 1/3～3/3」 元中央児童相談所所長 中川 恵子 氏
	「子ども家庭相談援助制度及び実施体制」 中央児童相談所 総括次長（企画調整担当） 鈴木 一彦

② 児童福祉司任用後研修（5日間）

実人数36人、延べ142人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年10月5日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 30人	「関係機関（市町村を含む）との連携・協働と在宅支援 1/3～3/3」 東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏
令和5年10月17日(火) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 27人	「非行対応 1/2～2/2」 尚絅学院大学 教授 川端 壮康 氏 ----- 「子ども虐待対応 4/4」 仙台市児童相談所 相談指導課心理支援係 係長 村田 理恵 氏
令和5年10月20日(金) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 30人	「子ども家庭支援のためのケースマネジメント 1/4～2/4」 東北福祉大学 准教授 竹之内 章代 氏 ----- 「社会的養護における自立支援 2/3～3/3」 杉並学園 園長 麻生 信也 氏
令和5年10月25日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 29人	「行政権限の行使と司法手続 1/2～2/2」 かみすぎ法律事務所 三浦 じゅん 氏 ----- 「社会的養護における自立支援 1/3」 宮城県なごみの会 会長 卜蔵 康行 氏
令和5年10月26日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 26人	「子どもの面接・家庭面接に関する技術」 仙台市児童相談所 相談指導課心理相談担当課長兼親子こころの相談室 室長 有住 洋子 氏 ----- 「子ども虐待対応 1/4～3/4」 明星大学 教授 川松 亮 氏

③ 要保護児童対策調整機関の調整担当者研修（7日間（一部②と合同開催））実人数20人、延べ107人

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年10月5日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 16人	「要保護児童対策地域協議会の運営 1/2～2/2」（合同開催） 東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏
令和5年10月13日(金) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 15人	「会議の運営とケース管理」 北部児童相談所 児童虐待対応業務アドバイザー 千葉 歩 ----- 「子どもの成長・発達と生育環境」 子ども総合センター 技術次長（小児科医） 佐藤 寛記
令和5年10月20日(金) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 12人	「子ども家庭支援のためのソーシャルワーク 1/2～2/2」（合同開催） 東北福祉大学 准教授 竹之内 章代 氏
令和5年10月25日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 17人	「子どもの権利擁護と倫理」（合同開催） かみすぎ法律事務所 三浦 じゅん 氏 ----- 「社会的養護と市町村の枠割」（合同開催） 宮城県なごみの会 会長 卜蔵 康行 氏 ----- 「子どもと家族の生活に関する法令と制度の理解と活用」 仙台市生活自立・仕事相談センターわんすてっぷアウトリーチ支援センター 佐藤 圭司 氏
令和5年10月26日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 15人	「子ども虐待対応 1/3～3/3」（合同開催） 明星大学 教授 川松 亮 氏
令和5年11月1日(木) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 17人	「子どもの生活に関する諸問題」 宮城県総合教育センター 主幹 齋藤 義彦 ----- 「子どもの所属機関の役割と連携」 宮城県総合教育センター 次長 一丸 都 ----- 「子ども家庭相談の運営と相談援助の在り方 1/2～2/2」 元東部児童相談所 所長 鈴木 清 氏
令和5年11月29日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 15人	「母子保健の役割と保健機関との連携」 一般社団法人宮城県助産師会 代表理事 塩野 悦子 氏 ----- 「子ども家庭相談援助制度及び実施体制」 「児童相談所の役割と連携」 中央児童相談所 所長 池田 耕一

## 7 子どもの心のケア推進事業

東日本大震災により様々な体験をした子どもたちの心のケアを行うために、子どもたちが表す様々な精神症状や心の問題について、地域の関係機関と連携しながら充実した医療的支援を行うため、子ども総合センター附属診療所における児童精神科医療体制の強化を図っている。

また、保育士や教員など子どものメンタルヘルスに関わる支援者の対応力向上を図ることを目的とし、地域の状況の経年的変化に沿って内容を調整しながらコンサルテーションや事例検討会、研修会などを実施している。

### (1) 子どもの心のケア体制強化事業

#### ① クリニック対応医師の委嘱

クリニックの診療体制強化のために児童精神科医3名(年間108回)を外部委嘱した。

#### ② 「りんくるみやぎ」スタッフ会議への参加

#### ③ 「心のサポート班事例検討会」における助言

#### ④ 子ども・若者支援地域協議会への参加

### (2) 子どもの心のケア研修事業

保育士、教員、保健師等の子どものメンタルヘルスに関わる支援者を対象に、子どもの心のケアに関する研修会や対応困難な親子への関わりを学ぶ研修会を実施した。

## ○ 実施状況

### ① 保育所等関係者研修会

支援者が子どもへの効果的な支援の在り方や関わり方、また、自らのメンタルヘルスケアについて学ぶことで、対応力向上の一助となることを目的として実施した。

講義「気になる子の支援とアタッチメント障害について」

座談会「東日本大震災から12年を経て、豪雨災害や地震への備えとコロナ禍の3年を乗り越えて今、想うこと」

実施日・会場	講師
令和5年8月24日(木) まなウェルみやぎ 受講者 21人	東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏
令和5年9月1日(金) 大崎合同庁舎 受講者 15人	東北福祉大学 講師 柴田 理瑛 氏
令和5年10月20日(金) 気仙沼保健福祉事務所 受講者 6人	宮城学院女子大学 教授 足立 智昭 氏
令和5年10月30日(月) 大河原合同庁舎 受講者 13人	宮城学院女子大学 教授 足立 智昭 氏
令和5年11月22日(水) 石巻合同庁舎 受講者 21人	東北学院大学 教授 平野 幹雄 氏

## ②児童精神科医による対応困難な親子に関する研修会

対応困難な親子への理解を深め、支援者に必要とされる視点や関わり方について考える機会とし、また、支援者自らのメンタルヘルスキアの一助となることを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年10月6日(金) まなウェルみやぎ 受講者 36人	講話及び座談会 「診療で出会った親子への関わりを通して」 講師 宮城県子ども総合センター 保健福祉部技術副参事兼技術次長 児童精神科医 高田 美和子

## ③虐待から子どもを守るための研修会（児童虐待対応職員研修会）

地域で子ども虐待に対応する職員が、子どもと子どもを取り巻く家族全体の問題と長期的に向き合い、適切に支援することができるよう、職員の児童虐待対応力の向上を目的に実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年9月19日(火) まなウェルみやぎ 第1・2研修室 受講者 (午前) 30人 (午後) 97人	講義・演習 (午前) 「困難を抱える子どもや家庭の支援のために、地域の連携協働を考える～ニーズが見えない子どもや家庭に支援を届ける方法とは～」 講師 同志社大学 心理学部 客員教授 八木 安理子 氏 (午後) 「困難をかかえる子どもや家庭を地域の中で支援するチームづくり～ことばの裏側にある気持ちに寄り添うには～」 講師 同志社大学 心理学部 客員教授 八木 安理子 氏

## ④アートセラピー研修会

ホスピタルアートと心のケアについて学ぶことにより、支援者の対応力を高めることを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和5年12月13日(水) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 25人	講義・演習 「子どもの感性を開き、おとなも共に楽しむアートワークセラピー」 講師 特定非営利活動法人 子ども未来研究所 アートワークセラピスト 中島ゆき子 氏

⑤子どもの愛着形成について考える研修会

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年1月30日(火) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 54人	講義 「愛着発達上の課題のある子どもを理解する：現場のわたしたちができること」他 講師 聖学院大学 心理福祉学部 心理福祉学科 教授 大橋 良枝 氏

⑥子どもの心の回復力を育てる研修会

傷つきながらも、その経験をしなやかに受け止めて立ち直る心（レジリエンス）を育てる支援について学ぶことを目的として実施した。

実施日・会場	内 容 ・ 講 師
令和6年2月13日(火) まなウェルみやぎ 第1・第2研修室 受講者 31人	講義 「こころのレジリエンスを考える」 講師 東北大学名誉教授・尚絅学院大学特任教授 加藤 道代 氏

## 8 発達障害者支援センターの運営

当事者とその家族の多様化するニーズに対応するため、身近な地域で充実した支援が受けられる体制が必要であることから、令和元年7月に県直営となる発達障害者支援センターを設置し、一次支援機関（市町村等）、二次支援機関（発達障害者地域支援マネージャーを配置した事業所）と相互に連携を図り技術支援を行った。

また、発達障害児等の家族支援を推進するため、令和3年度から直営センター事業としてペアレント・プログラム事業やメンター派遣事業等の家族支援事業を実施した。

### (1) 発達障害者支援センター活動実績

職員が地区担当制をとり、二次支援機関と密に連携し、地域の実情に応じた機関支援（個別ケース等を通じた技術支援や事例検討会等）を展開した。

#### ○相談実績（支援者相談等を含む）

相談者数

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	7	6	4	8	9	9	4	4	7	2	6	2	68
延べ人数	7	7	6	9	9	9	4	4	10	5	7	7	84

相談者の内訳

単位：人

区分	本人	家族	関係機関	その他	計
実人数	4	40	24	0	68

対象者の年齢

単位：人

区分	0～3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～39歳	40歳～	不明	計
実人数	1	4	31	9	7	3	1	12	68

相談方法

単位：件

区分	電話	来所	訪問	メール・FAX	計
延べ件数	61	1	10	12	84

相談内容

単位：件

区分	延べ件数
診断・相談・支援を受けられる機関について	45
対応困難な状況の改善について	19
現在の生活に関すること、家庭で家族ができること	17
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	7
現在通学している学校、利用しているサービス等	7
利用できる制度について	3
進路や将来の生活に関する相談	3
今後の就労について	0
現在勤めている職場に関する相談	0
その他	17
合計	118



## ○支援者相談実績

相談件数（再掲） 単位：件

実件数	延べ件数
6	7

相談対象者の圏域

単位：件

圏域	仙南	仙台A※1	仙台B※2	大崎	石巻	栗原	登米	気仙沼	計
件数	1	1	0	3	1	0	0	0	6

※1 名取市・岩沼市・亘理町・山元町

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡

相談対象者の所属

単位：人

区分	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
実人数	0	4	2	0	0	6

相談内容（再掲）

単位：件

区分	延べ件数
対応困難な状況の改善について（強度行動障害、ひきこもりなど）	5
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談	4
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	2
現在の生活に関することや、家庭で家族ができること	1
その他	3
合計	15

## ○連携先機関別活動実績

単位：件

関係機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
精神保健推進室	1	1	0	0	1	0	1	0	4	1	0	1	10
えくぼ※1	4	17	11	12	7	16	18	16	19	12	20	15	167
地域支援マネジャー配置事業所※2	15	26	39	25	13	29	23	32	28	29	31	19	309
療育支援事業委託事業所※3	12	22	24	19	9	20	20	28	24	26	28	16	248
その他事業所	0	3	3	3	3	4	1	3	4	1	2	1	28
市町村	2	10	5	7	7	5	3	3	4	5	6	2	59
保健福祉事務所	2	2	7	4	4	5	3	4	4	4	2	3	44
学校	3	5	9	8	5	6	7	9	7	5	12	4	80
幼稚園・保育所	1	0	2	1	2	1	3	2	5	5	6	1	29
教育委員会	6	5	4	1	2	2	4	4	2	2	5	6	43
医療機関	3	2	1	2	3	1	1	1	1	2	5	0	22
その他	8	10	10	6	8	13	14	10	8	13	10	7	117
合計	57	103	115	88	64	102	98	112	110	105	127	75	1156

※1 宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」

（（1）～（5）の実績を含む）

※2 発達障害者地域支援マネジャー

※3 宮城県障害児等療育支援事業所委託事業所

## ○圏域別活動実績

単位：件

圏域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
仙南	3	8	5	2	4	5	8	7	11	6	6	3	68
仙台A※1	5	11	5	5	4	4	7	4	4	7	11	2	69
仙台B※2	6	9	12	10	3	11	7	10	6	7	8	5	94
大崎	8	3	12	7	2	4	7	5	3	5	5	3	64
石巻	2	7	8	4	1	8	7	6	5	3	3	3	57
栗原	2	3	2	3	2	3	3	3	1	4	2	2	30
登米	1	5	3	3	0	3	4	3	2	1	3	3	31
気仙沼	3	4	3	3	4	2	4	3	2	2	4	3	37
全県	15	8	8	5	13	8	12	14	16	9	20	9	137
仙台市	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
計	46	58	58	43	33	48	60	55	50	44	62	33	590

※1 名取市・岩沼市・亶理町・山元町

((1)～(5)の実績を含む)

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村

## (2) 出前講座

発達障害児に関わる支援者（主に一次支援者）を対象に、発達障害に関する理解を深め、早期発見・早期支援の一助とすることを目的に、学校や事業所等に出向き、講座を実施した。

実施状況

実施件数	参加者数
21件	538人

申込状況

単位：件

区分	件数
保育所・認定こども園等	3
児童クラブ・児童館	3
児発・放デイ等	2
市町村	0
教育委員会	8
小学校	2
中学校	1
高校	1
支援学校	1
合計	21

講座内容

単位：件

区分	件数
基礎理解と対応	12
アセスメントと支援	6
自立や就労を意識した支援	1
発達を促す遊びや姿勢	2
合計	21

### (3) 研修会の開催

発達障害児支援業務に従事している支援者に対し、知識と技術の向上を図り、実践につなげていくことを目的に各種研修会を開催した。

階層別研修：発達障害支援者基礎研修（一次支援機関対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和5年4月27日(木)	子ども総合センター会議室(ハイブリッド)	講義「発達障害児の基礎理解と対応」 宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	現地参加22人、オンライン参加60人

早期発見・早期支援研修（一次支援機関対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和5年12月21日(木)	まなウェルみやぎ第一・第二研修室(対面)	発表「保護者との関係作り～保護者の立場から～」 ペアレント・メンター 2名 講義「子どものコミュニケーションの苦手さに気付くためのポイント」 宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	99人

圏域別研修（一次支援機関対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和5年6月30日(金)	マルホンまきあーとテラス大研修室(対面)	「ペアレント・プログラムの考え方と実際」 講師：石巻かもめ学園 安藤 奈穂也 氏 (発達障害者地域支援マネジャー)	28人
令和5年8月10日(木)	気仙沼保健福祉事務所大会議室(対面)	ペアレント・メンター体験発表 進行 気仙沼市マザーズホーム 管理者 熊谷 智子 氏 グループワーク ファシリテーター 気仙沼市マザーズホーム 佐藤 牧子 氏 (発達障害者地域支援マネジャー)	23人
①令和5年9月4日(月) ②令和5年10月30日(月) ③令和6年1月15日(月)	栗原市消防本部大会議室(対面)	①「発達障害の基礎理解と、仮想事例で子どもの特性を整理する」 ②「仮想事例から子どもの支援と栗原市のあったら良いなを考える」 宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 ③「ペアレント・メンターの話聞いて、保護者支援を考える」 ペアレント・メンター2名 助言者 宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	①33人 ②20人 ③26人

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和6年1月18日(木)	大河原合同庁舎大会議室 (対面)	ライフステージ移行期の共同に関する検討会 ～切れ目のない支援を考える～ ・川崎町の発達支援体制についての説明 川崎町保健福祉課 菅野君枝 氏 ・川崎町の特別支援教育コーディネーターの役割と取り組みについて かわさきこども園 相澤朋幸 氏 ・ライフステージ移行期の共同に関する支援の経過について 富岡幼稚園 佐藤新吾 氏 保健福祉課 菅野君枝 氏 ・グループワーク ・全体のまとめ 国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官 泉 浩平 氏	23人
①令和6年1月23日(火) ②令和6年1月26日(金)	①リフノス研修室 ②仙台保健福祉事務所黒川支所会議室 (対面)	①②「発達が気になる子どものアセスメントと保護者支援～仮想事例を用いて、行動から特性を整理して支援を考える～」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 ・演習 ファシリテーター さわおとの森 理事 齋藤 純子 今野智恵美 (発達障害者地域支援マネジャー)	①40人 ②17人
令和6年2月9日(金)	宮城県精神保健福祉センター会議室 (対面)	話題提供「『子ども支援研修会』の実践から－協働による保護者支援－」 みやぎスクエアサポート 猪又 初恵 (発達障害者地域支援マネジャー) 講義「自閉症のある方への支援－家族との協働－」 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 (併) こども家庭庁支援局 障害児支援課 発達障害対策専門官 西尾 大輔 氏 グループワーク	51人
令和6年2月14日(水)	岩沼市総合福祉センターあいプラザ大会議室 (対面)	「切れ目のない支援をアセスメントでつなぐ」 ・演習 進行 みやぎスクエアサポート 片瀬 道 (発達障害者地域支援マネジャー) ・講評 宮城県障害者権利擁護センター 所長 鈴木 みゆき 氏	27人